

		EZ-WIN総合評価シート				23.3.5 (日) 中山11R G2 弥生賞 芝2000m内 15:45																	
間隔	総合評価点数	予想印	枠番	馬番	馬名	性別	年齢	負担重	予想人気	相対指数	トレンド血統	最終調教評価	中間調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	高速馬場実績or適性
14	34	▲	1	1	美)レヴォルタード	牡3	56	4			注		E	2,5	6,2		25	94	23	横山武	手塚貴	展	高
6	45	○	2	2	栗)ワンダイレクト	牡3	56	3	B			馬		3,2	6,1		52	95	27	C.ル	藤岡健		準
13	5		3	3	美)アームブランシュ	牡3	56	10						16,5	7,1	11,3	6	47	4	吉田豊	竹内正		
9	24	△	4	4	栗)トップナイフ	牡3	56	1	A			馬	C	1,9	6,2	2,2	50	93	27	横山典	昆貢		準
12	20		5	5	栗)フォトンブルー	牡3	56	8		注				12,13	8,3	4,1	12	97	5	戸崎圭	武幸四		
3	35	×	6	6	美)タスティエーラ	牡3	56	2	B					5,3	1,2		100	160	35	松山弘	堀宣行		高
34	33	×	7	7	美)ゴッドファーザー	牡3	56	6			△	馬		1,1	2,4		25	159	9	武豊	萩原清		
6	43	★	7	8	栗)セッション	牡3	56	7			△	馬		2,4	1,4	5,2	25	159	5	B.△	斉藤崇		高
8	10	×	8	9	栗)ヨリマル	牡3	56	9				D		1,5	7,2	2,8	2	38	4	横山和	上村洋		高
9	32	◎	8	10	美)グリューネグリーン	牡3	56	5	A			馬		6,15	1,8	2,3	16	101	5	M.デ	相沢郁		高

土曜の中山芝は、基準タイムに対して「マイナス1秒7」で、かなりの高速設定でした。

今日も雨の心配は無さそうで、ゲリラ豪雨でもない限り土曜の高速設定が継続するものと考えます。

これ程の高速馬場で行われた弥生賞は過去に例がなく、よって当然の如く、これまでの「スタミナ血統母系」という好走傾向が、根っこから崩れることが予想されます。

土曜日に人気以上の着順に走った馬の多くが、そのレースの距離よりも短い距離に適性を持つ父や母父を持っており、米国型・欧州型という分類よりも、全体的に「スピード志向」に振れた適性馬が有利な馬場でした。

弥生賞は菊花賞に繋がりがやすい「スタミナ指向のレース質」と言うのは、今年に限っては通用しない方にヤマを張り、マイル以下への適性を補完された馬を中心視致します。

ただし、このレースはディーピンバクト記念と言う冠名に違わず、ディーピンバクトの血が重要なレースであるという傾向は重視しておきます。

◎10番グリューネグリーン

父:キングマンボ系ラブリーデイ
母父:Tサンデー系スペシャルウィーク
祖母父:プリンスリーギフト系サクラユタカオー

祖母父サクラユタカオーは、スプリントのスペシャリストサクラバクシンオーの父で、母父としても短距離重賞の活躍馬を送り出しておりました。

祖母のウメノファイバーはオークス馬ですが、芝1000mの新馬戦を勝ち、1400mの京王杯、

1600mのクイーンCを勝っていた早熟のスピード馬でもありました。

本馬自身は超高速馬場だった未勝利戦を圧勝し、
2走前には準高速馬場の阪神2000m内回りで行われた
G3京都2歳Sでトップナイフの追撃を凌ぎ優勝。

前走のホープフルSは路盤の状態が悪化する
暮れの中山独特の重たい馬場も合いませんでしたが、
スタート後に外からミッキーカプチーノに「頬ずり」され続けて
ポジションも取れず、4角では内の馬にアタックを喰らわされ、
直線でも外の馬に寄り切られる「物理的不利三昧」で、
しかも「超前有利馬場」で前に行けなかったと言う
まさに踏んだり蹴ったりの1戦でした。

今回は大外枠に入った事で、
物理的な不利を受ける可能性が低くなり、
なおかつ、弥生賞としては非常に稀な高速馬場。

本番に向けての賞金は十分に足りている
トライアルではありますが、メンバーを見渡せば
馬券圏内を外す要素は少ないと考えます。

○2番ワンダイレクト

父：欧ダンチヒ系ハービンジャー
母父：ディーブインパクト
祖母父：欧フェアリーキング系(ND系)

短距離馬ワンカラットの牝系で、
母もマイル重賞で3連続2着。
全5勝の内1400mの勝ち星が3つと言うように
ワンカラットと非常に似通った距離適性でした。

前走の若駒S(OPL)は外差し有利馬場を先行して、
大外から飛んできた追込み馬にハナ差敗れましたが
勝ちに等しい内容であり、皐月賞へのチケット取りに
鞍上をルメール殿に戻して来ております。

★8番セッション

父：ディーブ系シルバーステート(母父ロベルト系)
母父：欧ミスプロ系ドバウイ
祖母父：欧トゥルビヨン系インディアンリッジ

母のミスドバウイは1200mで3勝したスプリンター。

母父のドバウイはスプリンターズS血統の
シーキングザゴールドの系譜に連なる種牡馬。

また、祖母父インディアンリッジも
母父として高松宮記念馬を出した
アホヌーラの産駒になります。

ディープ系種牡馬に母系からスピードを強化すると
高速馬場への対応力が大きく上昇しますので、
今週のような高速馬場は歓迎材料となりましょう。

更に申せば、土曜の中山1800m内回りで
1着から5着まで独占した「ロベルト持ち」にも該当致します。

能力的には重賞実績馬とは比べるに及びませんが、
有力馬達が複数回避した「スッカスカ」のこのメンバーで、
鞍上がJRA重賞で9戦中6戦で馬券に絡む
ムルザバエフ殿への鞍上超強化であれば、
ノーチャンスではないでしょう。

▲1番レヴォルタード

父：欧ロベルト系エピファネイア
母父：Tサンデー系ゼンノブロイ
祖母父：欧エタン系ホーリング

母のバウンスシャッセは中山巧者過ぎて、
フラワーカップ優勝後は桜花賞に向かわず
皐月賞に使われたレアな牝馬でございました。

また母の妹のコントラチェックも
中山の重賞で3勝2着1回と言う超中山巧者。

土曜日にまとめて走ったロベルト系を父に持つ事と、
高速馬場の未勝利戦を圧勝した点を評価致します。

△4番トップナイフ

父：欧ダンテヒ系デクラレーションオブウォー
母父：欧ヌレイエフ系スピニングワールド
祖母父：欧リポー系バンブーアトラス

弥生賞の黄金ローテである
ホープフルS好走馬に該当致しますが、
今回とは馬場の設定が大きく異なる事と、
前走のホープフルSは「超前有利馬場」を
逃げての2着で、かなり恵まれた感がある事。

もうひとつ言うなら、デクラレーションオブウォー産駒は
使って上向く傾向が強く、休み明けの信頼度は
激しく下がるという特徴を持っております。

馬場の脚質的な有利不利は現段階では
ハッキリしませんが、少なくとも高速馬場が
味方になるような血統構成ではありません。

とは言えこのメンバーですから
さすがに消す訳にも行かず・・・
煮え切らぬ印と相成りましてございます(*_*)

馬券

EZ-WIN推奨馬券

馬連ボックス:2・6・8

熊閃の馬券

単勝10番

馬連:10-1・2・4・8

3連複フォーメーション15点

10-1・2・8-1・2・4・6・7・8・9

		EZ-WIN総合評価シート			23.3.5 (日) 阪神11R 大阪城S 芝1800m外 4上OPLハンデ 15:35																		
間隔	総合評価点数	予想印	枠番	馬番	馬名	性別	年齢	負担重量	予想人気	相対指数	短距離指向血統	最終調教評価	中間調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	ハンデ評価
7	21		1	1	栗)プライドランド	牡	7	54	8			D+	E	4,10	6,13	2,16	10	70	8	松若風	高野友	R	
3	12		1	2	栗)シャイニーロック	牡	7	57	5	A				1,9	1,6	2,11	20	52	22	鮫島克	佐々木		
5	29		2	3	栗)スーパーフェザー	セ	8	54	13				E	10,5	15,9	4,14	6	107	4	松田大	渡辺薫	R	軽
4	32	☆	2	4	栗)ジェットモーション	セ	7	55	9	C			D	12,4	13,16	16,3	9	83	8	藤岡佑	藤岡健		軽
6	19		3	5	美)オウケンムーン	牡	8	56	15	C			E	5,13	16,10	7,12	0	0	4	団野大	岩戸	R	
6	32	○	3	6	栗)ワールドバローズ	牡	5	56	3	A	短	B	▲	3,5	13,7	2,8	0	0	22	和田竜	石坂公		
8	30	△	4	7	栗)シュヴァリエローズ	牡	5	56	6	B		D+	D+	7,10	7,1	5,6	10	70	4	北村友	清水久	R	
4	39		4	8	栗)ラセット	牡	8	55	10	B	短			13,6	9,3	12,2	0	90	8	加藤祥	庄野靖	R	軽
13	36	△	5	9	栗)エアファンディタ	牡	6	57	1	A		D+	E	7,6	8,3	11,2	0	0	55	岩田望	池添学		
23	37	▲	5	10	栗)フライライクバード	牡	6	56	2	A			E	7,11	3,13	4,2	50	91	22	坂井理	友道康	WR	
12	18		6	11	栗)エルプシャフト	牡	10	52	16				E	8,7	地方	地方	6	107	4	今村聖	千田輝		軽
4	25		6	12	美)プレシヤスブルー	牡	9	55	14					15,1	15,7	16,3	6	107	4	勝浦正	相沢		軽
4	26	△	7	13	栗)プリンスリターン	牡	6	58	4	A	短			3,13	10,2	6,6	50	91	22	幸英明	加用正		
4	38	◎	7	14	栗)ニホンピロスクーロ	セ	6	55	12	A	短	C+	B	2,12	5,11	1,5	0	0	4	高倉稜	服部利	展	軽
29	32		8	15	栗)ダブルシャープ	牡	8	57	11	B	短	▲	D	13,10	9,13	5,2	0	0	4	浜中俊	渡辺薫		
3	36	△	8	16	栗)スカーフェイス	牡	7	56	7			D	C+	13,3	17,1	16,1	9	83	8	西村淳	中竹和		

土曜阪神の外回りコースは短距離指向の血統馬が有利で、
チューリップ賞を7人気で勝ったモズメイメイもこの該当馬でした。

また、大阪城Sは軽ハンデ(54キロ~55キロ)の人気薄が
穴をあける傾向がしっかりと出ているレース。

従来のハンデキャッパーが変わっていなければ、
今年も軽ハンデ馬の人気薄を狙うのも面白そうですね。

◎14番ニホンピロスクーロ

日本ピロアワーズ産駒の得意距離は1400mと1800m。
牝系ファミリーも1200m・1400m・1800mを得意としております。

本馬自身も1800mに4度出走して2度馬券になっており、
久しぶりに父、母両家の得意距離に出走して参ります。

ハンデは55キロ。短距離指向血統馬。
ならば思い切ってこの馬で攻めてみる事と致します。

馬券

単勝14番

馬連・ワイド・3連複

14-4-6-7-9-10-13-16

EZ-WIN予想の馬券構築について

EZ-WIN予想に打っている印によって
おススメの馬券は、以下の通りとなります。

馬連

◎から流し。相手は○▲★☆△

通常は4～5点になります。

3連複フォーメーション

買目平均は30点前後になりますが

10万級の大きな馬券を取りこぼして悔しい思いを
しない為には、トリガミの覚悟も必要です。

1列目：◎

2列目：○▲★☆△

3列目：印全頭

ワイド

★ー◎○▲

★の単複